

行動規範

「私たちの在り方と働き方」



AkzoNobel

Tomorrow's Answers Today



本書にはアクゾノーベルの行動規範が記載されています。アクゾノーベルは、2008年に当社の価値観を再定義致しました。当社の価値観：

お客様の発展
を最優先に考
える

起業家の視点
で発想する

才気あふれる
人々を育成
する

勇気と好奇心
を持って問題
に取り組む

誠実さと責任
感を持って行
動する

行動規範について - ハンス・ワイヤース

アクゾノーベルの事業原則は、事業を展開する上で大変重要なものです。企業としての今日の成功を維持すると同時に、将来においても、人、利益、地球の調和をはかりつつ当社の事業を発展させていく上で大きな手助けとなります。

5年前の導入以来、アクゾノーベルの事業原則は明確な成果をあげています。これまで当社では、世界各国の社員を対象に研修を実施してきましたが、もちろん一度の研修がすべてではありません。引き続き、事業原則に照らして日々の業務のあり方を考え、適切に行動していく必要があります。常に事業原則を意識して行動できるように、このたび「アクゾノーベル行動規範」を設けることと致しました。

この行動規範は、当社の社員一人一人が理解しておくべき責任の概要を明確に示すことを目的としています。その意味で、この行動規範には、全般的な事業原則だけでなく、私たちにとって重要な会社規則も含まれています。私たち全員が当社の基準に基づいて業務を遂行する上で、この行動規範が大きな手助けとなります。

当社の社員であるみなさんには、この行動規範を十分に理解し、それに従うという個人的責任があります。当社の行動規範に従わない場合は懲戒処分の対象となること、さらに重大な過失に対しては解雇もあり得ることを承知しておいてください。社員のみなさんは、既に公表されている事業原則に従って行動されていることと思います。

そうでない場合、あるいはこの行動規範に関して、どのように行動すべきか分からない状況に直面している場合は、直属長に相談してください。この行動規範をどのように解釈し、どのように反映すればよいかについて、直属長が解決策を示唆してくれることでしょう。

さらに、管理者は、会社の方針や規範に違反している行動を把握する必要があります。この目的を達成するため、アクゾノーベルでは、社員が懸念事項をすみやかに提起する手段として「申し立て手続き」を設けました。当社は、行動規範違反、または行動規範違反が疑われる行為を報告してくれた社員を最大限保護することを約束します。行動規範に従った結果、当社の事業に損失が発生した場合でも、経営陣は管理者または社員に一切の責任を負わせないことをここに明言致します。社員のみなさんが当社の行動規範を支持し、それに従ってくださるものと確信しています。

当社の行動規範には、「私たちの会社における正しい行動」が反映されています。社員一人一人がこの行動規範の内容を十分に理解し、従ってくださることを期待しています。そうしてはじめて、私たち全員が、これから先もこの会社を誇りに思い続けることができるのです。

アクゾノーベル
会長 ハンス・ワイヤース
CEO AkzoNobel

目次

02	行動規範について	-	ハンス・ワイヤース
04	初めに		
05	当社について		
	事業原則		
	環境		
	地域社会の支援		
07	企業の誠実性		
	法令の遵守		
	コミュニケーションおよび情報		
	自由な企業活動、公正な競争		
	詐欺及び不正行為		
	高リスク諸国での事業		
	児童労働		
	強制労働		
10	企業責任		
	オープンなコミュニケーション		
	機会均等		
	健全な職場環境		
	組織する権利		
	団体交渉		
	政治活動への参加		
	個人情報の保護		
	業績・能力開発ダイアログ		
12	社員の責任		
	メディア関係および情報開示		
	内部情報		
	コーポレートアイデンティティ		
	アクソノーベルの知的財産保護		
	インターネットの利用・IT行動規範		
	出張		
	薬物乱用		

初めに

アクゾノーベルの社員として、みなさんは、会社のバリューおよび事業原則に従って行動し、会社の方針、法律および規則に従うことが求められます。会社のバリューや事業原則は、会社の投資家の方々に理解してもらえるよう私たちの会社の在り方、また在るべき姿について示したものです。会社の指令、方針およびガイドラインに定められていることは、日常的にすべての社員が実践することをその目的としています。

この行動規範には、事業原則や指令を含む、全社員に関係する重要な情報の概要が含まれています。この規範は、私たちの在り方、そして働き方を述べたものです。私たちは、倫理上または法律上難しい問題に直面したときにはいつでも、この行動規範に従って解決しなければなりません。この行動規範の内容は必要に応じて更新されます。行動規範が更新された場合は、そのつど全社員に通知します。

本書は次のような章で構成されています。

- 当社について
- 企業の誠実性
- 企業責任
- 社員の責任

さらに、社員のみなさんは、会社の方針や法律に違反した行為に気づいた場合は、それを経営陣に知らせる必要があります。このために、アクゾノーベルでは、申し立て手続き (Complaints Procedure) を策定しました。この手順は、みなさんが違反行為の申し立てを行う上で最善の方法を決める上で有用です。

当社は、行動規範に違反している行為、または行動規範に違反していると思われる行為を報告した社員を全面的に保護します。社員がこの行動規範に従った結果、当社の事業に何らかの損失にいたった場合も、経営陣がその責任を追及することは一切ありません。

当社の事業原則および行動規範に従わない場合は懲戒処分の対象となり、解雇される可能性もあります。当社の社員は、常にこの事業原則に基づいて行動してください。

行動規範、あるいはその他の企業方針や指示について不明点がある場合は、直属長に問い合わせてください。

当社について

事業原則

経営理念で述べられているように、アクゾノーベルの目標は、顧客、株主および社員から第一番目に選択される企業であること、そして尊敬される社会の一員であることです。OECD多国籍企業行動指針の精神に則し、この事業原則は、私たちの目標を実現するために、アクゾノーベルの全企業の行動の根拠となるべきコアバリュー(基本的価値観)を示しています。この点において、アクゾノーベルの事業原則は世界のいたるところにおける私たちのビジネス取引に対して、そして、アクゾノーベルのビジネスを担う社員個々の行動に対して、一様に適用されます。この事業原則は、さらに、他の特定事業政策分野に対するアクゾノーベルの主な責任についても触れています。

この事業原則は、ビジネスユニットの経営陣および各国の経営陣が企業活動のローカルルールをさらに規定することを許容しています。但し、かかるルールは、私たちのコアバリューと合致するものとし、また、アクゾノーベルの世界的な評判を損なうものであってはなりません。

アクゾノーベルの事業原則をアクゾノーベルの社員に確実に通知し遵守させることは、経営陣および各ビジネスユニット経営陣の責任です。さらに、アクゾノーベルは、請負業者や供給業者との関係の締結または維持、および合併事業への参加の決定に際しては、この事業原則の適用を最も重要な判断基準と見なします。

当社の価値観

当社の価値観は、「Tomorrow's Answers Today」に具体化されています。アクゾノーベルの信念は以下のとおりです。

お客様の発展を最優先に考える
起業家の視点で発想する
才気あふれる人々を育成する
勇気と好奇心を持って問題に取り組む
誠実さと責任感を持って行動する

責任

アクゾノーベルは、当社の事業を継続するにあたって持続的利益が不可欠であることを認識した上で、お客様、株主、社員、および社会へ長期的価値を提供することを約束します。

当社の第一の目的はお客様の成功です。そのためには、健康・安全・環境に関する厳しい基準を満たすと同時に、価格においても品質においても、価値ある製品とサービスをお客様に提供しなければなりません。

当社は、株主の投資に対して競争力のある利益をもたらすことを約束します。そのためには、当社の投資家の期待を十分に考慮する必要があります。

当社は、社員に魅力的な職場環境を提供することを約束します。そのためには、仕事の適性を唯一の基準として社員の採用、雇用、昇進を行い、各自の能力向上および職業上のスキル開発を促進し、安全で健康的な職場環境を提供する責任があります。また、あらゆる種類のハラスメントや差別、児童就労を禁止することも当社の責任となります。

当社は、社会的責任をもって行動することを約束します。そのためには、事業を展開している各国の法律を順守し、事業の合法的役割に沿って基本的人権を支持し、環境維持開発への取り組みの一環として健康、安全、環境を考慮します。

自由な企業活動

アクゾノーベルは、自由な企業活動と公正な競争という原則を支持します。私たちが目指すところは、顧客のニーズに対して競争企業よりも迅速かつ確に、そして差別化された対応を行うことです。この目的に向け、アクゾノーベルは適用される競争に関する法律の枠内で、精力的かつ公正に競争的活動を行います。

ビジネスの誠実性

アクゾノーベルは、その事業活動のあらゆる側面で、誠実さと公正さを条件とします。

- 賄賂の授受やその他あらゆる形態の非倫理的な事業慣行を禁じます。
- アクゾノーベルの社員は、会社の利益とその個人的利益や金銭的利益とが相反することになる一切の状況を回避することが期待されています。

全ての商取引は、アクゾノーベルの会計基準および現地の法律に従って正確かつ完全に記録されるものとし、監査の対象となります。

社会貢献活動

アクゾノーベルの各企業は、社会貢献活動を支援することが奨励されています。

- アクゾノーベルの各企業は社員に対して、たとえば市民活動プログラムや教育的プログラムを通じて、社会的な事柄に積極的役割を果たす機会を与えることとします。但し、利益相反を生み出すような活動への参加はこの限りではありません。
- アクゾノーベルの各企業は政党、その関連団体、代理機関または代理人に献金してはなりません。

コミュニケーションと情報

アクゾノーベルは、当社の活動領域、その活動領域が利害関係者に与える影響、および会社が果たすべき社会的役割を鑑みて、適切なコミュニケーションが不可欠であると認識しています。守秘義務については最大限の配慮を払いつつ、アクゾノーベルの各社は、他者とオープンで、事実に基づいた、また適時のコミュニケーションを行うように努めます。

コンプライアンス

経営役員会はアクゾノーベルの事業原則の遵守から生じる事業の損失に対しては、いかなる場合もその責任を問いません。また、この原則に対する違反行為やその疑いがあることを通報した社員がその結果として苦痛や損害を蒙らないように配慮します。

環境

アクゾノーベルは、適切に設計、製造、流通および廃棄処分を実施することによって、事業活動および製品が環境に与える影響を防止し、または最小限度に抑えることにより環境を保護します。

アクゾノーベルは、すべての社員が環境保護に一役買うことを望みます。もし社員が、何らかの環境法違反、またはそのような違反を隠蔽していると思われる行為に気づいた場合は、直ちにその事柄を直属長に報告しなければなりません。また、必要があれば、会社の申し立て手続き (Complaints Procedure) に従ってアクゾノーベルの顧問弁護士にも報告しなければなりません。

アクゾノーベルは、製品安全管理システム (Product Stewardship management system) を通じて、当社のサプライヤーおよび顧客にも、健康 (Health) 、安全 (Safety) および環境 (Environment) への関心を高める努力を行っています。

地域社会の支援

アクゾノーベルは、当社社員が生活し、働いている地域社会の活動を支援します。アクゾノーベルのコミュニティプログラムは、社員たちが個人的に参加していることを条件に、そのようなプログラムを支援する手段を提供します。従って、社員は現地の運営/現地委員会に積極的に参加し、プロジェクトを提案することを奨励されています。

企業の誠実性

法令の遵守

アクゾノーベルの方針は、その事業に適用されるすべての関係法令に従うことです。アクゾノーベルの業務に従事しているとき、特に下記の分野で、社員は様々な法的問題に直面するかもしれません。特定の法令に関する質問がある場合は、アクゾノーベルの法務部に連絡してください。

コミュニケーションおよび情報

アクゾノーベルは、その活動範囲、利害関係者に与える影響、および当社が果たす社会的役割から、適切なコミュニケーションが不可欠であることを認識しています。最も重要な考慮事項である機密性を維持するため、アクゾノーベルは、適切なタイミングで、事実のみを率直に伝達するよう努力します。

自由な企業活動、公正な競争

アクゾノーベルは、自由な企業活動と公正な競争という原則を支持します。私たちが目指すところは、顧客のニーズに対して競争企業よりも迅速かつ的確に、そして差別化された対応を行うことです。この目的に向け、アクゾノーベルは適用される競争に関する法律の枠内で、精力的かつ公正に競争的活動を行います。アクゾノーベルは、その事業活動のあらゆる側面で、誠実さと公正さを条件とします。

賄賂の授受やその他あらゆる形態の非倫理的な事業慣行を禁じます。

アクゾノーベルの社員は、会社の利益とその個人的利益や金銭的利益とが相反することになる一切の状況を回避することが期待されています。

全ての商取引は、アクゾノーベルの会計基準および現地の法律に従って正確かつ完全に記録されるものとし、監査の対象となります。

独占禁止法の遵守

アクゾノーベルは、ビジネスのために競争を行います。同様に、アクゾノーベルの社員も合法的かつ倫理的に競争することが求められます。アクゾノーベルは、当社が世界中で行っている事業が、独占禁止法およびアクゾノーベルの独占禁止法遵守方針 (AkzoNobel Competition Law Compliance Policy) を完全に遵守していることを保証するために、厳格な方針を採用しています。

サプライヤーとの取引

アクゾノーベルは、当社の事業原則に示した倫理的なバリュー、当社の社会的基準、環境基準を支持するビジネスパートナーと取引することを望んでいます。アクゾノーベルでは、請負業者や供給業者との契約の締結や継続を判断する際に、事業原則に沿っているかを最重要視しています。

支払い

贈収賄

贈収賄を含め、倫理に反するあらゆる商行為を禁止します。いかなる状況においても、アクゾノーベルの役員、社員、職員、外交員は金銭や物品を授受したり、これらの授受を約束したり、認めたりしてはなりません。対象となる行為は以下のとおりです。

- ...ビジネス上での便宜を目的とした金品の贈答
- ...政府の方針を操作するため金品の贈答
- ...不正の疑いを持たれる可能性のある授受

金品を実際に贈答しなくても、贈賄を申し出ただけでアクゾノーベルの方針と規律に違反することを覚えておいてください。

手数料の支払い

手数料の支払いという形で、一切の賄賂を禁止する規則をすり抜けることはできません。いかなる手数料の支払いも、当社に提供されたことが明らかで、追跡可能なサービスに対するものでなくてはなりません。代理人、卸業者またはコミッションナーへの報酬は、通常の金額および商慣習を超えたものであってはなりません。アクゾノーベルは、政府の役人を代理人、卸業者またはコミッションナーに指名してはいけません。

円滑化を目的とした少額の支払い

「円滑化を目的とした少額の支払い」とは、必要な政府認可を取得する場合など、定例的な行政措置の速やかな遂行を促すために、公知または広く認知されている現地の習慣に従い、少額の金銭または物品（アクゾノーベルの製品など）を職員に贈答することです。アクゾノーベルは、こうした慣行を撤廃するための対策を進めています。いかなる場合でも、適用法および規制に従ってください。一部の国では、「円滑化を目的とした少額の支払い」が一切認められていません。実施しようとしている支払い行為が「円滑化を目的とした少額の支払い」と見なされるのか、あるいは合法的な支払いであるのかが不明な場合は、アクゾノーベル法務部に問い合わせてください。

支払いの記録

当社の会計原則およびその地域のすべての適用法に従い、「円滑化を目的とした少額の支払い」を含むすべての支払いを所定の元帳に記録する必要があります。会社勘定以外の秘密口座および裏帳簿は一切認めません。通常の代理手数料または発生原価の返済でない限り、職員に対して一切の支払いを行ってはなりません。少額の現金取引を除き、第三者への現金支払いは認められません。すべての支払いは、書面で指定された銀行口座を介

して行う必要があります。また、いわゆる匿名番号口座への支払いも認められません。契約相手から、組織または個人への直接支払いを要求された場合は、必ず拒否してください。すべての支払いが内部監査および外部監査の対象となります。

すべての金融取引を迅速かつ正確に記録する必要があります。また、取引に関する情報も記録してください。アクゾノーベルの記録は、あらゆる取引が所定の会計基準に基づいていることを実証するためのものであり、リベートや賄賂など、帳簿外の取引を阻止することを目的としています。したがって、当社の社員は、会計および財務報告に関するすべての基準、方針、規範に従う必要があります。いかなる社員も、その目的にかかわらず、当社に代わって不明な口座や簿外口座を開設してはなりません。また、いかなる理由があろうとも、アクゾノーベルの帳簿および記録を偽造または操作してはなりません。

マネーロンダリング

アクゾノーベルは、犯罪の隠蔽を意図した財産もしくは金銭の取得、保有、使用または管理を容易にする（または容易にすると思われる、もしくは容易にするために使用されると疑われる）一切の取り決めを結ばず、またこのような取り決めを容認しません。

贈与

商取引を得るための個人的な贈与や有利な取り計らいは、一切、第三者に与えてはならず、第三者から受けることもできません。商取引を得るための個人的な贈与や有利な取り計らいとは、購入の意思決定に影響を及ぼす可能性のあるもの、または癒着の原因の可能性となるものをいいます。疑問がある場合は、直属長に相談してください。

ビジネス上の贈与に関しては、当社のあらゆる部門において、直属長と部下の間における完全な透明性が重要です。

詐欺及び不正行為

詐欺や不正行為が存在することを察知した場合、またはその疑いを持った場合、直属長に直ちに知らせてください。報告を受けた直属長は、必要な措置を決定するため、アクゾノーベルの内部監査業務部 (AUD) に、必ず連絡しなければなりません。

定義

- 詐欺 - 故意により、横領、文書改ざん、データの消去、または金銭や物品の持ち出しを行い、資金や資産を違法に会社から流出させたり、会社に流入したりすること。
- 不正行為 - 不正確、不完全、もしくは不明確な情報を故意に提供したり、雇用契約、会社の指令もしくは他の規則に違反するなど、詐欺以外の手段によって、会社の財務情報や意思決定に不適切な影響を与えること。

高リスク諸国での事業

アクゾノーベルは、当社が事業を展開する地域社会において、当社の活動が幅広い層の生活水準および福祉を改善する機会となっていると考えています。ビジネスの適正な役割に従って基本的な人権を支援することは、当社の事業原則の1つです。

- 経営役員会のみが、会社 (新たな法人) の設立を決定します。これには、アクゾノーベルが未だ進出していない諸国への直接的な参入が含まれます
- アクゾノーベルのビジネスユニットは、国連が課す経済制裁に従わなければなりません。かかる制裁を受けた国からの撤収の条件および期限は、経営役員会によって決定されるものとします。(例外的な場合 - 通常は利害関係者と話し合った後で、経営役員会は、かかるリスクの高い国に当社が留まることが人々のために引き続き正当であると決定する場合があります。)

リスクの高い諸国で事業を行うビジネスユニットおよびサービスユニットは、イントラネット上のツールを使い、自社の活動を自己点検しなければなりません。自己点検の目的は、ビジネスユニットおよびサービスユニットに、自分たちの事業が人権に与える影響に気づかせることです。ネガティブな影響を及ぼす可能性がある場合、もしくは与えそうな場合には、予防措置を講じ、社員と事業を行う地域社会にとって有益な解決策を見つめることが奨励されます。

児童労働

児童労働とは、児童が教育を受けることの障害となり、その肉体的・精神的健康、家庭内での発育に害を与え、児童の児童期や自尊心を奪うような過酷な労働を指します。従って、アクゾノーベルの社員は、以下に従う必要があります

- アクゾノーベルは、当社が活動するすべての国で、就業の最低年齢に関する法的要件を遵守します。
- さらに、国際労働機関 (ILO) の条約第138号「就業が認められるための最低年齢に関する条約」および第182号「最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃のための即時の行動に関する条約」に従い、アクゾノーベルは16歳未満の児童を雇用しません
- 16歳から18歳までの児童を雇用する場合は、当社は、この労働が学業に影響せず、学業の妨げとならないことを保証します。
- ビジネスユニットの経営陣は、児童労働に関するアクゾノーベルの基準を主なサプライヤーおよび請負業者に周知させる責任を負います。

強制労働

アクゾノーベルは、いかなる状況にあっても、強制労働を行いません。アクゾノーベルは、自らの自由意思で働く社員のみを雇用します。いかなる社員も、当社での勤務を開始する際に保証金の差入を要求されることはなく、身分証明書類を取り上げられることはありません。ビジネスユニットの経営陣は、強制労働に関するアクゾノーベルの基準を主なサプライヤーおよび請負業者に周知させる責任を負います。

企業責任

オープンなコミュニケーション 健全な職場環境

開放性、誠実性そして信頼性は、職場環境のあらゆる局面において、社員と上司の間の双方向のオープンなコミュニケーションを育みます。原則として、すべての社員は直属長と話し合うことが奨励されています。また、直属長との話し合いが難しい場合は、その上の管理者と話し合います。

もし階層に沿った話し合いが実行可能でない場合は、社員は会社の通報手順 (Complaints Procedure) に従って、経営陣に問題を通報することができます。

機会均等

私たちは、社員にとって魅力的な職場環境を創り出します。この意味で、仕事への適性を唯一の基準として社員の募集、雇用および昇進を行うこと、自己啓発と職業能力開発を奨励すること、また安全で健康的な就業条件を提供することは、私たちの責任です。さらに、あらゆる嫌がらせ行為と児童労働を禁止することも、私たちの責任です。

私たちの社員の募集、採用、そして昇進は、客観的で差別のない基準に基づいて行われなければなりません。人種、皮膚の色、性別や宗教などに基づく嫌がらせや差別はいかなるものも許されません。

HIVやAIDSを含め、障害や慢性的疾患にかかった場合にも、社員は、偏見や差別を受けることなく、医学的に可能な限り、適切な仕事に従事し働くことができるようにされるべきです。障害や慢性的疾患 (HIV及びAIDSを含む) は、解雇の理由にはなりません。いかなる場合でも、有用かつ適切に職務上の要求を満たすことができる限り、社員は就業し続けることができます。

アクゾノーベルのマネジャーは、個人の資質、個人の目標、各国の文化、および組織的な利益における相違に配慮し、行動できる柔軟性を持つ必要があります。マネジャーは、このような相違への対応に積極的に取り組んでいくべきです。

アクゾノーベルは、すべての社員および他の利害関係者の健康へ及ぼす害を予防し、健康を促進するため、安全で健康的な職場環境を提供します。そのため、健康と安全に関するプログラムや規定がすべての職場に適用されます。社員の皆さんは、これらの規定に従う責任があります。

アクゾノーベルは、自らの社員だけではなく外部の取引先のためにも、業務上の災害の防止に努めます。

このほか、当社は、すべての社員の心身の健康状態、能力に合った業務を担当させるように努めます。ケアやサポートは、慢性的障害や疾患を抱えた社員に対応するために不可欠なものです。すべての社員は、相応の医療サービスを利用することができます。HIVやAIDSの罹患率が高い地域では、自発的なカウンセリングや検査が奨励、支援されます。

医療情報の開示

仕事への適性を判断するために必要な医療データ以外に、個人的な医療情報 (例: 雇用前のHIV検査) を開示するように求職者や社員に求めることは、正当化できません。また、個人の医療情報はすべて、極秘情報として取扱います。

組織する権利

アクゾノーベルは、自らの選択により団体（労働組合を含む）を設立し、また団体に参加するという社員の自由を認め、この権利を尊重します。アクゾノーベルは、組合に参加しないこと、または組合員であることを放棄することを採用の条件とすることはありません。また、アクゾノーベルは、組合員であるという理由だけで労働者を解雇し、または差別することはありません。

団体交渉

アクゾノーベルは、適応法、規制、一般的な労働関係、および雇用慣行の枠組み内で、労働組合およびその他の社員団体による交渉の権利を尊重します。アクゾノーベルは状況に応じて、自分自身あるいは雇用者組合を通じて交渉または協議に応じます。雇用条件を取り決めるにあたり、地方の権利および共同決定を十分に尊重します。

政治活動への参加

アクゾノーベルは、政党での活動や公職選挙への立候補など、社員が社会で積極的役割を担うことを奨励します。

アクゾノーベルは、政党やその団体、機関、議員などに支払いや献金を一切行いません。またアクゾノーベルは、社員行動委員会による政治献金を促しません。

個人情報保護

アクゾノーベルは個人情報保護の重要性を認識しており、グローバルなプライバシー行動基準の徹底を目指しています。当社の社員はプライバシー行動基準を熟読してください。アクゾノーベルは、プライバシー行動基準の規定に従い、決められた目的でのみ個人データを処理します。個人データには、氏名、自宅住所、社会保障番号、勤務評価データ（P&D ダイアログ）などが含まれます。

業績・能力開発ダイアログ

(Performance & Development Dialog)

P&Dダイアログは、アクゾノーベルの評価プログラムです。これは、共通するプロセス、用語およびツールを用いて当社の世界規模の事業を支援しており、すべての社員とマネジャーを業績評価と能力開発に関する継続的な話合いに集中させます。導入されている場所では、このプログラムの使用は当社の文化の一環であり、全社員の責任です。

社員の責任

メディア関係および情報開示 内部情報

確実に情報レベルを統一するため（例えば、当社の株主に対してなど）、また取引上の秘密を保護するため、メディアに発表される財務情報の詳細は、アクゾノーベルの四半期報告書および年次報告書、またはそれら数値の公表時の公式な声明にて提供されるレベルを超えることを固く禁じます。

さらに、ビジネスユニットや各国の事業体が公表するより具体的な財務情報は、まず、経営役員会の責任あるメンバーによる承認を受けなければなりません。

業績、買収、分社化、合併事業および巨額の投資（1000万ユーロ超）のような事柄に関しては、広報部門（Corporate Communications）と事前に協議することなく、メディアに発表することを一切禁止します。

株価に影響する情報は、絶対に開示してはなりません。疑問がある場合は、広報部門（Corporate Communications）に連絡してください。意図せずともこの指令から逸脱した場合は、直ちに（24時間以内）、報道発表により、会社レベルで修正しなければなりません。経営役員会は、重要な情報が確実に適時に、かつ適切に開示されるよう、情報開示管理委員会（Disclosure Control Committee）を設置しました。

当社のイメージに影響を与える可能性のある（社会的、環境、財務などの）問題についてのメディアとの接触は、広報部門（Corporate Communications）に任せるか、または会社の発するメッセージと矛盾することがないよう広報部門（Corporate Communications）と事前に検討すべきです。

社員は、第三者が株式市場で「インサイダー取引」を行うことを可能とするような発言を慎まなければなりません。

アクゾノーベルの社員は、アクゾノーベルまたはその他の企業についての情報を公表前に見聞きする可能性があります。アクゾノーベルまたはその他の企業に関する非公開情報（「内部」情報）を各自の通常の職務の範囲外で使用することは、非倫理的と見なされ、法律違反となる場合もあります。オプション、プット、コール、デリバティブなど、株式またはその他証券の取引を目的に、ある企業についての「重大」な非公開情報を入手したり、これらの情報を他者に公開したりすることは、ほとんどの管轄で違法と見なされています。これらの法律に違反した場合は、民事処分、刑事処分、およびその他の処罰に課せられる可能性があります。アクゾノーベルは、それが違法であるかどうかにかかわらず、内部情報の不正使用を容認しません。

内部情報は株価を左右する可能性があります。株価を左右する情報とは、上場企業の業績や運営状況などに関する情報であり、周知となった場合、その企業の株価に影響を与える可能性があります。例えば、以下のような情報が対象となります。

- 収益に関する情報
- 合併および買収の取引
- 企業/財務に重要な影響を及ぼす可能性のある新製品
- 影響を及ぼす可能性がある、および影響を及ぼすことが確実な政府機関（FDAなど）から受領する書簡
- 管理組織もしくは経営陣の変更
- 監査人もしくはその意見の変更
- 有価証券に関する事柄（株式分割など）
- 破産
- 訴訟

アクゾノーベルの株価を左右する情報を入手したアクゾノーベル社員は、その情報を厳重に管理し、その情報を知る必要のない同僚または第三者へ公開しないように注意してください。第三者（アクゾノーベルの顧問など）への公開については、法律または契約により、当該の第三者に非公開制限および非使用制限が適用される場合に限って許可されます。また、アクゾノーベルの株価に影響を与える可能性のある情報は、AkzoNobel Disclosure Committee（アクゾノーベル開示委員会）へ速やかに報告する必要があります。当委員会は、情報開示の必要性について理事会に提言します。情報開示の決定権を持っているのは理事会だけです。疑わしい場合は、開示委員会の委員長に連絡してください。実際には、アクゾノーベルの社員が内部情報を入手した第三者の証券についても同様の義務が課せられます。

この指示に対する違反行為または意図せぬ逸脱が認められた場合は、開示委員会の委員長へ速やかに報告してください。

コーポレートアイデンティティ

世界中で一貫した、そして有効なコーポレートアイデンティティを確保するため、アクゾノーベルのコーポレートアイデンティティマニュアル（AkzoNobel Corporate Identity Manual）に定めた規則に厳密に従ってください。また、これら規則は特定の製品グループ、会社およびビジネスユニットにより異なることに注意してください。

コーポレートアイデンティティ規則から逸脱する場合は、何であれ、実施前にアクゾノーベルの広報部門（Corporate Communications）に提示し、承認を得なければなりません。

アクゾノーベルの知的財産保護

これまでアクゾノーベルは、特許、商標、著作物、企業秘密（極秘の技術情報やビジネス情報）など、貴重な知的財産を築いてきました。社員はこれらの資産を保護する責任があります。

通常、経営管理者は、発明や独創的な表現を特許、商標登録、または著作権によって保護します。特許、商標、著作物を譲渡するには経営管理者の承認と正式な契約が必要となります。

社員は、「知る必要のある相手」に対してのみ極秘情報を開示するものとし、社内の極秘情報へのアクセスをセキュリティで保護するなど、不正開示を防止する手段を講じる必要があります。極秘情報を第三者へ開示するには、経営管理者の承認を得ること、および機密保持契約に基づいていることが条件となります。適切な保護手段を講じない限り、第三者から発案や機密情報を入手したり、それらを使用したりしてはなりません。

知的財産の譲渡または知的財産に関する争議には、アクゾノーベル知的財産部門が必ず関与します。いずれの状況においても、アクゾノーベル知的財産部門の関与なく、知的財産権の有効性、適用範囲、または法的強制力について表明することはできません。

インターネットの利用・ IT行動規範

原則として、IT関連のすべての資源および設備は、社内使用および業務関連での使用のみを目的としており、個人的に利用することはできません。社員に提供されているIT設備はアクゾノーベルの資産です。これらを個人的利益のために利用したり、勤務時間内に乱用したりしてはなりません。アクゾノーベル、アクゾノーベルの製品、またはアクゾノーベルの顧客に関する機密情報や極秘情報を正式な通信手段以外で開示することは、固く禁じられています。

非倫理的または非合法な方法で、IT関連の資源や設備を利用してはなりません。同時に、IT関連の資源や設備を利用して、アクゾノーベル、アクゾノーベルの事業、社員、供給業者、顧客、競合会社、関係者を窮地に陥れたり、誹謗中傷したり、事実と異なる内容を伝えたり、不当または不利な内容の情報を伝達してはなりません。

情報システムは、個人のパスワードやその他の認証方式（ハードウェア・トークンなど）によって保護されます。ユーザーは責任をもってこれらを使用し、他者に漏れないように注意すると同時に、悪用を防止する必要があります。アクゾノーベルによって提供されたソフトウェア、またはアクゾノーベル情報システムに備わっているソフトウェアのインストール、変更、削除、および個人的利用は、情報管理部門または当部門に委任された担当者が承認および管理します。

情報およびシステムの盗難、紛失、不正使用を防ぐため、ユーザーは、提供されたハードウェア（ラップトップ、電話、トークン、USBスティックなど）を物理的に保護するための対策を講じる必要があります。さらにユーザーは、バックアップを作成する、データをネットワーク・ドライブに保存するなどの方法で、随時、社内データの可用性確保に努める必要があります。

情報セキュリティ関連の問題が発生した場合、または情報セキュリティ方針に違反する行為が認められた場合は、必ず、現地のITヘルプデスクまたは情報セキュリティ担当者に報告してください。その際、有力な証拠が改ざんされないように注意してください。アクゾノーベルのすべての社員は、情報セキュリティ規則、および各自の部署や現場の方式を熟知し、それに従う必要があります。具体的な内容は、各地の情報セキュリティ担当者によって通知されます。

アクゾノーベルは、当社のIT設備を使用してユーザーが行った活動を精査する権利を有しています。その場合、部門管理者に承認を求め、必要に応じて現地の社員に通知します。なお、いかなる場合でも現地の法律を順守するものとします。

出張

出張時の安全性

出張時における当社従業員の安全性確保は、アクゾノーベルの最重要事項です。当社では、健康上またはセキュリティ上の理由から旅行が危険と思われる国の最新リストを発行しています。出張者本人とその管理者は、危険性の高い地域への旅行が本当に必要かどうかを慎重に判断してください。

出張中の私事

各事業部またはサービス部門の統括責任者から事前に書面で承認を得ない限り、休暇を兼ねた出張、または配偶者、パートナー、親類、友人を伴っての出張は許可されません。

飛行機での出張

大陸内のフライト

通常、大陸内のフライトでは、入手可能な最も低料金のクラスを利用します。ただし、フライトが連続6時間を超える場合は、事業部、サービス部門、および各国の組織の管理者の判断で、ビジネス・クラスの利用を許可するガイドラインを発行することができます。

大陸間のフライト

ビジネス・クラス（またはこれと同等のクラス）は、許可されている最高レベルのクラスです。この規則に例外を設ける場合は、担当の取締役から事前に承認を得る必要があります。

ホテル

当社が定期的にビジネスを行う主要都市では、多数のホテルチェーンと契約を結んでいます。出張者は、可能な限りこれらの推奨ホテルを利用しなければなりません。

自家用車での出張

車の所有者が適切な自動車保険に加入している場合に限り、出張時に自家用車を使用することができます。自家用車で出張する場合の最長距離は片道500 kmです。その際の費用は、目的地により、最低航空運賃、高速列車料金、またはこれら両方を超えてはなりません（どちらが適用されるかは出張先によって異なります）。また、いかなる場合も個人の安全性を十分に考慮してください。

列車

列車で出張する場合は、ファースト・クラスの乗車券を予約できます。

参考

アクゾノーベルの出張Webサイト（イントラネットの購買ポータルWebサイトの一部）には、出張に関するさまざまな情報が掲載されています。その他の情報は、オランダにあるアクゾノーベル・ソーシング（AkzoNobel Sourcing）のアクゾノーベル・グローバル・トラベル管理（AkzoNobel Global Travel Management）から入手できます。

セキュリティ

経営役員会は、政治的に不安定な状況またはその他の一般大衆の安全への脅威（例えば、テロ行為）がある場合、全従業員の出張の制限、および/または国外出国者およびその家族の安全を確保するために講じるべき措置を決定します。

経営役員会の事務局は、このような制限および/または方策を事業部門、サービス部門の管理者、コーポレートスタッフおよび国の各組織の管理者に伝えるものとします。これらの管理者は、それぞれの組織における詳細な情報および措置の実施に責任を負います。

薬物乱用

薬物乱用は、一般に職場、特に生産現場に壊滅的な影響を及ぼします。したがって、アクゾノーベル構内での違法薬物の使用を固く禁じます。違法薬物には、合法的に入手し、決められた目的でのみ使用する処方薬および市販薬以外のすべての薬物が含まれます。

さらに、アクゾノーベルはアルコールを持ち込まないビジネス環境を強く奨励しており、多くのアクゾノーベル事業所ではアルコール飲料の持ち込みを一切禁止しています。社内イベントまたは社外イベントにおいては、現地の習慣や慣行に従い、ある程度のアルコール摂取を経営管理者が許可する場合があります。

この方針に従わない社員は処分の対象となります。

アクゾノーベルは、薬物関連の問題を抱えている社員を支援します。具体的な支援の内容は状況によって異なり、当該社員の協力が必要となります。



AkzoNobel

Tomorrow's Answers Today

www.akzonobel.com

アクゾノーベルは、塗料及び特殊化学品を製造する世界最大の企業です。アクゾノーベルは、人々の生活に欠かせない製品用の高品質な原料を世界中の各種産業分野に提供しております。アクゾノーベルは将来を考慮しながら、現在に対処します。また、お客様のために持続性に富んだソリューションの開発に献身しております。オランダ国アムステルダム市に本社を置き、総従業員6万人は、“Tomorrow's Answers Today” への貢献と実現を目標にして、世界の80以上の国々で活動しています

© 2008 Akzo Nobel N.V. 禁無断転載。“Tomorrow's Answers Today” は、Akzo Nobel N.V.の登録商標です。